

檜山地区 教育研究大会（せたな大会）

1 目的 教育の更なる充実，発展と新たな課題の解明に向け，各学校で積み上げた実践を交流し，互いに磨き合うとともに，学校教育を取り巻く今日的な諸課題にも目を向け，校長としての職能向上を図る。

2 主催 檜山校長会

3 後援 北海道教育庁檜山教育局・せたな町・檜山管内教育委員会連絡協議会
檜山管内各町教育委員会

4 期日 平成29年10月6日（金）・7日（土）

5 会場 せたな町民ふれあいプラザ

6 参加者 檜山校長会 会員（33名）

7 日程

【1日目】 9時15分 開会式
10時00分 講話（檜山教育局長）
11時15分 分科会
（第1「学校経営」第2「教育課程」第3「生徒指導」）
15時05分 全体会（道小・道中役員による教育情勢報告）

【2日目】 9時00分 学校別部会（提言発表）
（1）小学校部会（H29年度道小稚内大会提言・H29道特協千歳大会提言・今日的教育課題に係る研究協議）
（2）中学校部会（奥尻中学校の事例提言に係る研究協議）
10時50分 閉会式

8 学校経営上の課題別分科会

3つの学校経営上の課題別提言による研究協議を分科会形式で実施した。

第1分科会「学校経営」

『経営ビジョンの浸透を図る学校経営と校長の在り方』

提言者：せたな町立大成中学校 大磯武志

・せたな町校長会における今年度の組織マネジメントに係る研究の概要や成果・課題についての提言をもとに，各学校における校長としての学校経営ビジョンをどのように教職員に説明し浸透を図っているかについて意見交流を行った。要点として，学校経営のマスタープランを作成するにあたり，

- ① 関係法令及び学習指導要領に定められた目的や目標を前提とするものであること
- ② 教育委員会の規則，方針等に従っていること
- ③ 育成を目指す資質・能力が学校として明確であること
- ④ 学校や地域の実態に即したものであること
- ⑤ 教育的価値が高く継続的な実践が可能なものであること
- ⑥ 具体的評価が可能な取組に配慮して作成すること

等に配慮して行うことが重要であり，数値化したPDCA評価サイクルに基づいた学校改善を図ることが求められることを確認した。

第2分科会「教育課程」

『魅力ある学校経営に生かす創意工夫ある教育課程と校長の在り方』

提言者：乙部町立栄浜小学校 本多宏至

・乙部町校長会としての魅力ある教育課程の在り方の研究提言をもとに、各学校における特色ある教育課程の実態交流を行った。要点として、確かな学力の向上を目指す教育課程，豊かな人間性と感性を育む教育課程，個性や特性を生かす教育課程の三つの視点に立ち，社会に開かれた教育課程をどのように実現していくか，地域に信頼される学校づくりをどのように推進するかについて協議した。新学習指導要領の趣旨を深く理解し，保護者・地域と課題を共有した教育課程の編成をしていかななくてはならない。学校教育目標の具現化を図るためには，「オープン化」「システム化」「ネットワーク化」を念頭に置き，学校が組織として機能し地域社会と連携していくことが求められていることを確認した。

第3分科会「生徒指導」

『豊かな人間性を育む生徒指導と校長の在り方』

提言者：奥尻町立青苗小学校 浅沼珠恵

・奥尻町校長会としてのこれまでの研究の概要と成果・課題についての提言をもとに生徒指導に係る各校の実態について交流した。要点として，生徒指導の小学校と中学校での相違，異校種間の連携の在り方に係り，児童生徒の発達段階を考慮した育てたい能力を共有して取り組むこと，学力や生活力の向上のためスタンダードを確立すること，リスク及びクライシスマネジメントの対応策等の必要性について認識が深められた。

9 道小・道中教育情勢報告

道小・道中役員による教育情勢報告を通して，今後の教育の動向等について理解・認識を深めた。

北海道中学校長会事務局長	高橋 寿輔 氏
北海道小学校長会事務局幹事	松村 隆志 氏
北海道中学校長会情報部幹事	大村 浩喜 氏

- (1) 全国学力・学習状況の結果について
- (2) 教員の勤務時間の調査・働き方改革に関わって
- (3) 部活動の活動日の縮減に関わって
- (4) 新学習指導要領への対応に関わって
- (5) 教職員の服務規律に関わって

教職員の定数改善・特別の教科道徳の評価方法・外国語活動の時間の生み出し方・人事評価・再任用制度の現状と課題等について説明を通して認識を深めた。

10 学校別部会

(1) 小学校部会

平成29年度北海道小学校校長会教育研究稚内大会第6分科会「健やかな体」分科会及び平成29年度北海道特別支援学級設置学校長協会B課題3「教職員や特別支援コーディネーターの専門性・資質向上にかかわる校長の取組」の各提言発表をもとに交流した。次期学習指導要領の移行措置期間の対応，コミュニティスクール開設に向けた取組状況，Jアラート発生時の緊急対応等について交流した。

(2) 中学校部会

奥尻中学校長による閉校と開校に関わる提言をもとに，職員構成と危機管理及び中高一貫校としての取組の現状と課題について交流した。また，平成30年度全日中大会提言に係るプロジェクト会議からの情報提供を行った。